変額保険
グローバルミックス

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

2009年度
（2009年4月～2010年3月）

特別勘定の現況

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

基本資産配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式　50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 （特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社　特別勘定運用部が行います。）	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド (A) （適格機関投資家私募）	アクサ・ローゼンバーグ 証券投信投資顧問株式会社
		アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド (B) （適格機関投資家私募）	
		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド (A) （適格機関投資家私募）	
		アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド (A) （適格機関投資家私募）	
債券　50%		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド (B) （適格機関投資家私募）	

※　特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。
※　特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

変額保険
特別勘定の現況　（2009年4月～2010年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境　[2009年4月～2010年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇しました。TOPIX（東証株価指数）は前期末比＋26．52%上昇の978．81ポイント（前期末は773．66ポイント）で終了しました。
8月までは、世界的な景気底入れと金融システム安定化への期待感などを背景に上昇基調が続き、900ポイント台後半まで上昇しました。その後、急速な円高の進行や新政権の政策に対する不透明感などを受けて11月末までは軟調な展開となり、800ポイント台前半まで下落しました。しかし、期末にかけ、円高が一服したことや日銀の追加的金融緩和、景気回復期待による米国株式市場の上昇などを受けて再び上昇に転じました。
業種別（東証33業種）では、景気回復期待と資源高から「卸売業」（前期末比＋52．71%）が最も上昇した一方、日本航空が上場廃止となった「空運業」（同▲53．49%）が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比＋42．68%上昇の10，856．63ポイント（前期末は7，608．92ポイント）で終了しました。
10月までは、金融システムの安定化や予想を上回る企業業績などから大幅に上昇しました。11月以降、ドバイの債務問題やギリシャの財政悪化懸念などによる景気の先行き不透明感が嫌気される局面もありましたが、低金利政策の継続などを好感し、上昇基調で推移しました。
欧州株式市場も、上昇しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比＋44．66%上昇、仏CAC40は同＋41．56%上昇、独DAXは同＋50．65%上昇となりました。米国と同様に、世界的な景気回復期待を背景に大幅な上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、揉み合いの動きが続きました。新発10年国債利回りは1．395%となりました（前期末は1．340%）。
国内外での景気底入れ期待を背景とした株高と国債増発による需給悪化懸念などから6月に一時1．5%台半ばまで上昇しました。しかしその後は、景気回復期待や財政問題を背景とした需給悪化懸念などによる金利上昇圧力と、日銀のデフレ克服に向けた低金利政策の長期化やドバイの債務問題などを背景とした債券買いによる金利低下圧力が交錯し、概ね1．2～1．4%台のレンジで揉み合いながら推移しました。
日銀は、政策金利を据え置き、年0．1%を維持しました。
無担保コール（翌日物）は0．1%程度の水準で推移しました。

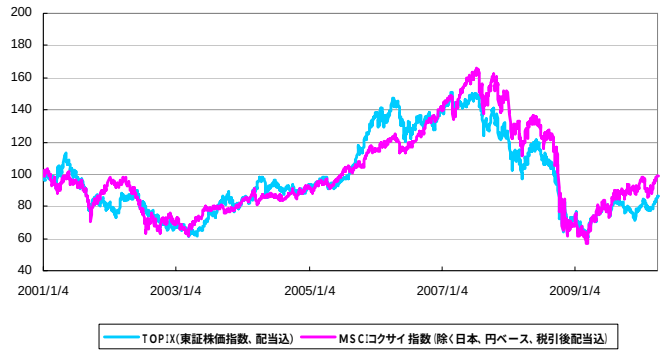
【外国債券市場】

米国債券市場は、金利上昇しました。景気回復期待と国債需給悪化懸念などから上昇基調で始まり、6月には米10年国債利回りは一時4%台まで上昇しました。その後、FRB（米連邦準備制度理事会）の低金利政策継続観測などは債券の買い材料となり、3%台前半まで金利は低下しましたが、2月にFRBが公定歩合を引き上げたことや景気回復期待などを背景とした株高などにより、期末は3．826%（前期末は2．663%）となりました。
欧州債券市場は、やや金利上昇しました。底堅い景気指標などから6月には独10年国債利回りは3．7%台に上昇した後、米市場に連動して堅調に推移しました。11月のドバイの債務問題や12月のギリシャの国債格下げなどを背景に、期後半は相対的に安全と見られる独国債が選好された結果、期末は3．092%（前期末は2．994%）となりました。
FRBは、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を据え置き、年0．0～0．25%を維持しました。ECB（欧州中央銀行）は、政策金利を4月と5月に0.25%ずつ引き下げ、年1．0%としました。

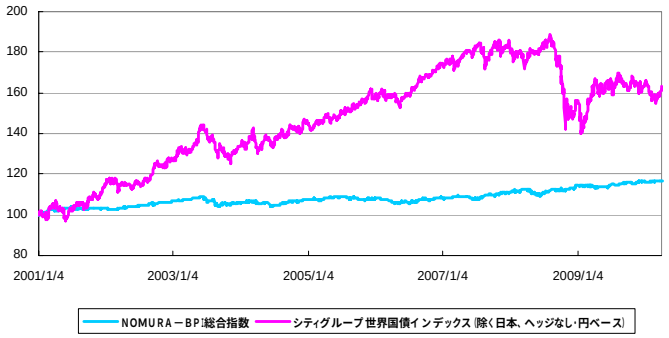
【外国為替市場】

外国為替市場は、円高基調で推移しました。
米ドル／円相場は、米国における低金利政策の長期化観測や、日本の新政権による円高容認観測などを受けて円高基調で推移しました。11月下旬にはドバイの債務問題による避難先通貨として円買いが強まったことから、1ドル＝86円台まで円高が進行しました。期末には、円は対ドルで前期末比5円19銭（＋5．28%）円高ドル安の1ドル＝93円04銭となりました。
ユーロ／円相場は、1月の中旬まで概ね130円台で推移しましたが、ギリシャの財政悪化懸念を受けてリスク回避の動きが強まると、ユーロは対主要通貨で売られ、急激にユーロ安円高が進みました。円は対ユーロで前期末比4円92銭（＋3．79%）円高ユーロ安の1ユーロ＝124円92銭となりました。

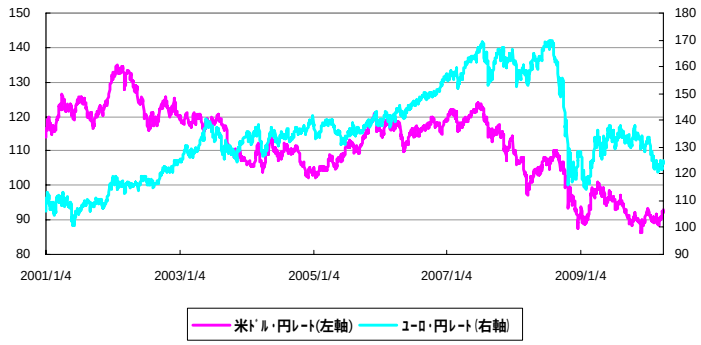
日本と外国の株式市場の推移
*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移
*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

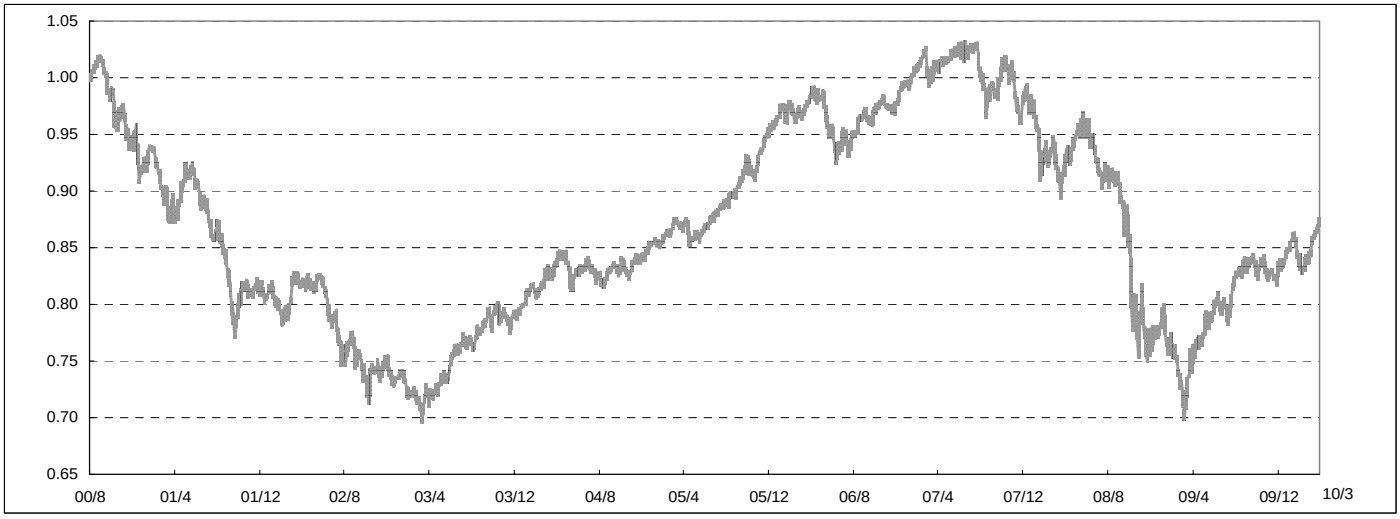
変額保険
特別勘定の現況　（2009年4月～2010年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況　[2010年3月 末日現在]

■特別勘定のINDEXの推移

※ 特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2010年3月末	2009年12月末	2009年9月末	2009年6月末	2009年3月末	
INDEX	0.875	0.847	0.838	0.804	0.740	
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
騰落率 (%)	4.45	3.21	4.37	18.24	▲ 13.32	▲ 12.54

※ 特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1．00として計算しています。
※ 騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目		金額 (千円)	比率 (%)
現預金・コールローン		673,599	1.9
その他有価証券		34,333,712	98.1
	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド (A)	3,718,938	10.6
	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド (B)	5,569,038	15.9
	アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド (A)	5,357,288	15.3
	アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド (A)	3,577,541	10.2
	アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド (B)	16,110,905	46.0
合計		35,007,311	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額 (千円)
利息配当金収入	48,026
有価証券売却益	―
有価証券評価益	904,363
有価証券償還益	―
為替差益	―
その他収益	―
有価証券売却損	―
有価証券評価損	▲ 4,904,465
有価証券償還損	―
為替差損	―
その他費用及び損失	442,945
収支差計	5,413,909

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。景気底入れ期待や金融システム安定化期待などから内外株式市場は大きく上昇しました。資産配分比率の50%を占める株式が堅調に推移したことがプラスに働きました。
資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。（株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。）
今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の現況　（2009年4月～2010年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

（参考情報）　アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）　［ 2010年3月 末日現在 ］

■利用する投資信託について

［投資信託名］　アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）
［委託会社］　アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社
［運用方針］

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

※　当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	11.29%	9.29%	7.86%	27.14%	▲39.66%	▲20.45%
BM	9.47%	7.85%	7.58%	26.52%	▲42.88%	▲33.98%
差	1.82%	1.44%	0.28%	0.62%	3.22%	13.53%

※　設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年8月3日）の前日を起点として計算しています。
※　投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※　「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）*1です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　組入上位10銘柄

	銘柄	業種	ﾏｻﾞｰファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.87%
2	本田技研工業	輸送用機器	2.75%
3	キヤノン	電気機器	2.66%
4	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	2.64%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.22%
6	三菱商事	卸売業	1.89%
7	武田薬品工業	医薬品	1.58%
8	パナソニック	電気機器	1.29%
9	ソニー	電気機器	1.23%
10	任天堂	その他製品	1.18%
合計			21.30%
組入銘柄数			433銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

（参考情報）　アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）（適格機関投資家私募）　［ 2010年3月 末日現在 ］

■利用する投資信託について

［投資信託名］　アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）（適格機関投資家私募）
［委託会社］　アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社
［運用方針］

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

※　当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	11.03%	8.68%	6.03%	25.61%	▲45.50%	▲6.86%
BM	9.47%	7.85%	7.58%	26.52%	▲42.88%	▲24.08%
差	1.55%	0.83%	▲1.55%	▲0.91%	▲2.62%	17.22%

※　設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※　投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※　「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）*1です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　組入上位10銘柄

	銘柄	業種	ﾏｻﾞｰファンド
1	キヤノン	電気機器	4.02%
2	本田技研工業	輸送用機器	3.56%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.23%
4	武田薬品工業	医薬品	2.96%
5	日産自動車	輸送用機器	2.74%
6	ジェイ　エフ　イー　ホールディングス	鉄鋼	2.56%
7	富士フイルムホールディングス	化学	2.16%
8	アステラス製薬	医薬品	2.12%
9	トヨタ自動車	輸送用機器	1.96%
10	東海旅客鉄道	陸運業	1.89%
合計			27.21%
組入銘柄数			346銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～6ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

［引受保険会社］
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の現況　（2009年4月～2010年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

（参考情報）　アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）　［ 2010年3月 末日現在 ］

■利用する投資信託について

［投資信託名］　アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）
［委託会社］　アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社
［運用方針］

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※　当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	6.51%	4.68%	11.40%	43.78%	▲16.33%	▲0.53%
BM	6.36%	4.13%	10.54%	48.56%	▲22.78%	▲12.97%
差	0.15%	0.55%	0.86%	▲4.77%	6.45%	12.44%

※　設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を起点として計算しています。
※　投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※　「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S＆P500種株価指数*2（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	2.68%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.65%
3	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.45%
4	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.10%
5	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	1.78%
6	HEWLETT-PACKARD CO	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	1.74%
7	PFIZER INC	アメリカ	医薬品バイオテクノ・ライフ	1.66%
8	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	各種金融	1.56%
9	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	1.43%
10	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	アメリカ	食品・飲料・タバコ	1.40%
合計				19.46%
組入銘柄数				281銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

（参考情報）　アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）　［ 2010年3月 末日現在 ］

■利用する投資信託について

［投資信託名］　アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）
［委託会社］　アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社
［運用方針］

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※　当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	7.86%	2.64%	6.19%	48.78%	▲26.04%	▲5.75%
BM	8.09%	3.05%	6.10%	49.24%	▲29.54%	▲17.37%
差	▲0.23%	▲0.42%	0.09%	▲0.47%	3.50%	11.62%

※　設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を起点として計算しています。
※　投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※　「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数*3（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	3.03%
2	BP PLC	イギリス	エネルギー	2.04%
3	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	2.03%
4	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.01%
5	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.96%
6	BANCO SANTANDER SA	スペイン	銀行	1.88%
7	SANOFI-AVENTIS	フランス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.74%
8	SIEMENS AG	ドイツ	資本財	1.74%
9	RIO TINTO PLC	イギリス	素材	1.60%
10	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.41%
合計				19.47%
組入銘柄数				271銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～6ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

［引受保険会社］
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の現況　（2009年4月～2010年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

（参考情報）　アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）（適格機関投資家私募）　［ 2010年3月 末日現在 ］

■利用する投資信託について

［投資信託名］　アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）（適格機関投資家私募）
［委託会社］　アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社
［運用方針］

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

※　当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.12%	▲0.01%	0.61%	2.36%	6.35%	12.18%
BM	▲0.09%	0.02%	0.80%	2.69%	6.97%	15.51%
差	▲0.04%	▲0.03%	▲0.19%	▲0.33%	▲0.61%	▲3.33%

※　設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※　投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※　「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス（総合*4、中期3年以上7年未満）です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　組入上位10銘柄

	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付 ムーディーズ	格付 S&P	ﾏｻﾞｰファンド
1	第259回利付国債（10年）	日本	1.500%	2014年3月20日	Aa2	AA	6.59%
2	第257回利付国債（10年）	日本	1.300%	2013年12月20日	Aa2	AA	6.28%
3	第275回利付国債（10年）	日本	1.400%	2015年12月20日	Aa2	AA	6.05%
4	第254回利付国債（10年）	日本	1.400%	2013年9月20日	Aa2	AA	5.84%
5	第252回利付国債（10年）	日本	1.000%	2013年6月20日	Aa2	AA	5.45%
6	第269回利付国債（10年）	日本	1.300%	2015年3月20日	Aa2	AA	5.18%
7	第272回利付国債（10年）	日本	1.400%	2015年9月20日	Aa2	AA	3.56%
8	第273回利付国債（10年）	日本	1.500%	2015年9月20日	Aa2	AA	3.47%
9	第305回利付国債（10年）	日本	1.300%	2019年12月20日	Aa2	AA	3.42%
10	第285回利付国債（10年）	日本	1.700%	2017年3月20日	Aa2	AA	3.33%
合計							49.18%
組入銘柄数							52銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

用語説明

＊1「東証株価指数（TOPIX）」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。
東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（以下㈱東京証券取引所）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。
㈱東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
＊2「S＆P500種株価指数」とは、スタンダード＆プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード＆プアーズ社に帰属しています。S＆P500種株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、S＆P500種株価指数（米ドルベース）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
＊3「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、MSCI欧州株価指数（ユーロベース）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
＊4「日興債券パフォーマンス・インデックス（総合）」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。
同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は日興コーディアル証券株式会社に帰属します。また、日興コーディアル証券株式会社は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

注意事項

○変額保険の仕組み
変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

○変額保険のリスクについて
①市場リスク
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額（有期型の場合、満期保険金を含む）や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク
万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～6ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

［引受保険会社］
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/